

新規就農者(自営) Uターン 2

氏名	土屋 睦彦さん(29才)
家族構成	両親、祖母、妻、弟
市町村	猪苗代町
ホームページ	
就農形態	Uターン



1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : 水稲 15ha、花き(カラー) 10a
- (2) 労働力 : 本人、父(50代)、母(50代)、弟(20代)
- (3) 販売方法 : 米: 商系卸業者(9割)、直接販売(1割)、カラー: JA出荷
- (4) 営農上の特記事項 : 特別栽培農産物の認証を受け、有利販売を目指している。
日本一の米を目指して、毎年コンクールに出品している。
水稲に頼らないようにカラーを栽培し、複合経営を目指している。

2 プロフィール

- ・平成14年 農大卒業。
- ・その後ミュージシャンを目指し、東京で2年間活動。
- ・平成16年 就農。
- ・現在、農業6年目。

3 就農の動機

刷り込み的な部分があったように思う。ミュージシャンを目指していたときも、どこかに罪悪感を感じていた。

就農直前に母がリュウマチを患った。そのことが背中を押してくれたように思う。

4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由
3 に同じ
- (2) 就農するまでの経過と年数
母のリュウマチを機に就農を決意。すぐに帰郷した。
- (3) 技術の習得方法
父や先輩方の指導の下技術を習得。
専門書を参考にした。
各種団体が主催する講習会等に積極的に参加した。
- (4) 過去の農業従事経験
なし
- (5) 農地の確保方法
父の農地を引き継いだ。その後借り入れし、規模拡大を図った。
- (6) 資金の確保方法
- | | |
|----------|----|
| ア 自己資金総額 | 万円 |
| イ 借り入れ | 万円 |

(7) 住宅の確保方法

ア 実家

(8) 地域とのつきあい・所属団体など

ア 所属団体：猪苗代町消防団、地区青年会、農青連、会津有機米研究会、猪苗代吹奏楽団（ドラム）

イ 笑顔を忘れずいつも落ち着きを保つこと

(9) 生活を支えた補助的収入

冬期間除雪作業

(10) その他（努力を要したことなど）



5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

(1) 利用した支援制度：新規就農者を支援するための資金（資金名は不明）

(2) 役に立った支援：

6 就農しての感想

(1) 良かったと思うことなど

元来ものを作ることが好きだった。今、作物を育てる楽しさを味わうことができる。やりがいを感じながら働くことがいい。

(2) 苦労したことなど

米価下落、資材費高騰により収益が下がって苦労している。安定性に欠けるところが辛い。

7 今後の目標・方針

一般の中流並みの生活ができるくらいの収入がほしい。

借り入れ金を無くしていきたい。

農業が好きなので、いつまでも続けていきたい。

8 新規就農を目指す人へのアドバイス

生活は楽ではないが仕事は楽しいので、そのあたりが納得できればよいのではないかと。自分に見合った経営を目指すのがよいと思う。